

子育てセミナー

障がいのあるきょうだいがいる子どもへの関わりについて



会 場

浪切ホール 4F 研修室1

時 間

AM10:00～AM11:30
(受付AM9:30～)

対象者

テーマに関心のある保護者・関係者・専門職

定 員

50名(保育付き(1才以上)20名)

※1歳未満のお子様は会場内に一緒に参加して頂けます。

※保育のお申込みは3回継続して講演に参加される方を優先いたします。

参加無料

※事前お申込みが必要です。

1回目

講 師

かわの ゆうこ
川野 由子先生

講演日

11月3日(土)

演 題

きょうだい児と言う言葉を
知っていますか?

※こころの視点から見た障がいときょうだい

プロフィール

大阪府立母子保健総合医療センター、帝塚山学院大学臨床心理士専門職大学院講師、臨床心理士
1987年より現在に至るまで、大阪府立母子保健総合医療センター非常勤心理士として、勤務。NICU出身の小さく生まれた赤ちゃんとのその後の成長を見守る発達外来をはじめ、様々なストレスで症状を呈する子ども達の心理療法をとおして、子ども達のこころに寄り添ってきた。

1988年～1999年まで、内科・精神科クリニックにて子どもから成人までの心理療法・心理面接を行った。

2004年より、帝塚山学院大学大学院心理教育相談センターに勤務。

2007年からは同大学臨床心理士専門職大学院講師を務めている。

他に、大阪府下の保健所での発達相談・療育相談を経て、現在はNICUのお母さんやご家族の気持ちを支える臨床活動を行なながら「子どもも親も笑顔になれる育児支援」をキーワードに、大阪府下の保健所での赤ちゃん交流会などにも携わっている。

2回目

きよた ひさよ
清田 悠代先生

11月18日(日)

きょうだいの気持ち
きょうだいの想い

※病児のきょうだい支援活動を通して教わった事

3回目

なかの ゆきこ
仲野 由季子先生

12月3日(月)

ハンディーキャップを持つ児の
きょうだい支援について

昭和56年大阪大学医学部卒業。
大阪大学医学部附属病院小児科で1年研修後、
昭和57年～63年日生病院小児科勤務。
平成1年～2年夫の留学に伴いドイツで過ごす。
平成2年10月から現在、こども心身医療研究所で小児心身症および児童精神科領域の子
ども及びその親の診療にあたっています。



保育申込締切日 1回目 10月19日(金)、2回目 11月1日(木)、3回目 11月18日(日)

お申込み

児童家庭支援センター岸和田 福島迄
お問い合わせはメールかFAXでお願いします。

メール : ki.shien@gmail.com
Fax : 072-447-1800